

四半期毎の自動車不具合情報の集計結果について（令和2年度第3四半期）

国土交通省では、自動車等のリコールの迅速な実施及びリコールに係る不正防止のため、四半期毎に自動車製作者や自動車輸入者から自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報等の報告を求めています。

また、毎日、自動車ユーザーの皆様から自動車不具合情報ホットラインを通じて自動車に係る不具合情報を収集し、同じくリコール業務に活用しております。

今般、令和2年度第3四半期の自動車不具合情報の集計結果をとりまとめたので公表します。

この集計結果は自動車製作者等や自動車ユーザーからの情報によるもので、国土交通省としてその内容のすべてを確認しているものではありません。

なお、自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報は、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的として、国土交通省のホームページで個々の事故・火災情報を検索することができます。（重大な事故・火災情報は随時更新、その他の事故・火災情報は四半期毎の更新）

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rci/cgi-bin/search.cgi>

さらに、自動車不具合情報ホットラインにお寄せいただいた個々の不具合情報については、同種・類似の不具合情報を提供していただくこと等を目的として以下の国土交通省のホームページで検索することができます。（毎月更新）

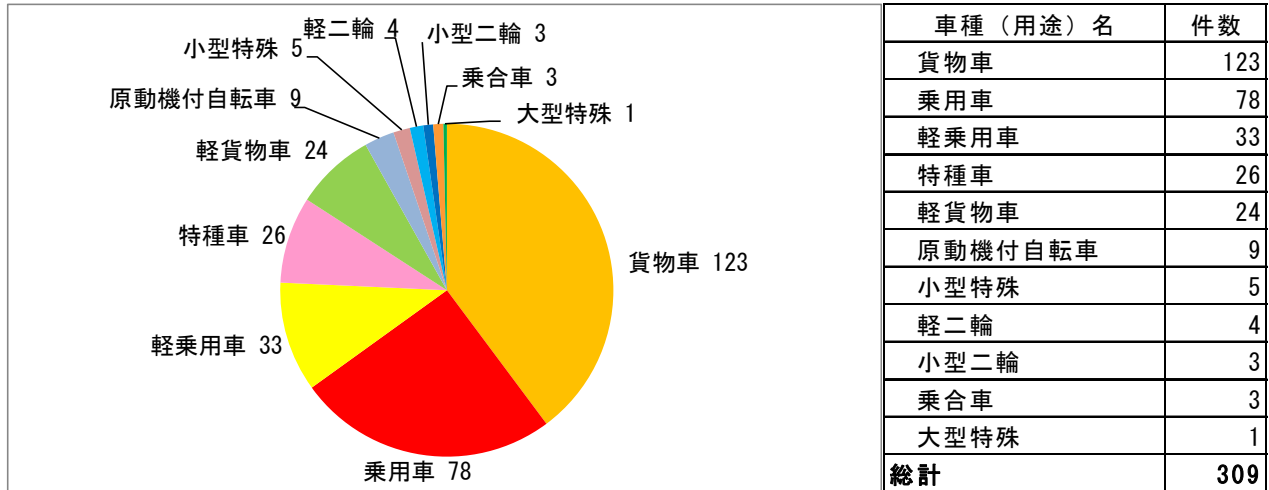
<https://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rci/index.html>

自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報（自動車製作者等からの報告）

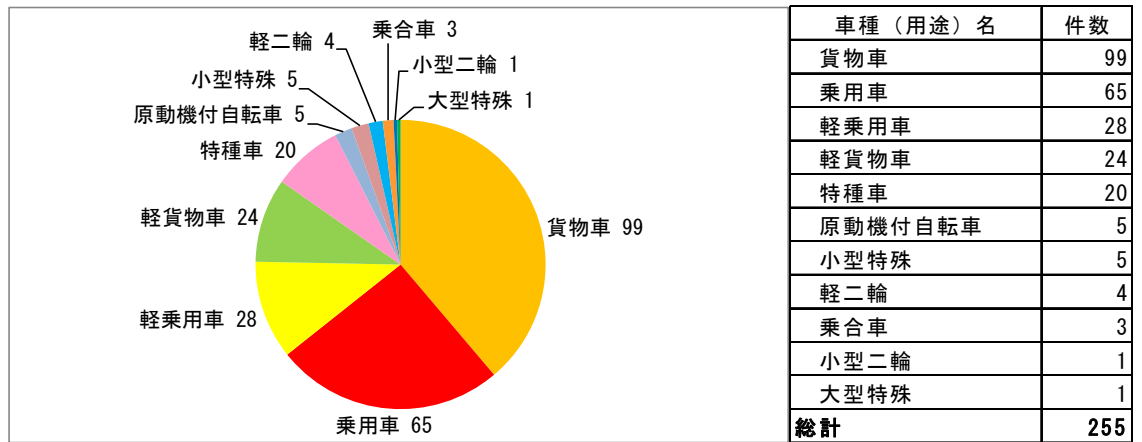
自動車製作者等から新たに報告のあった事故・火災情報の件数は、309 件でした。

[1] 車種（用途）別件数

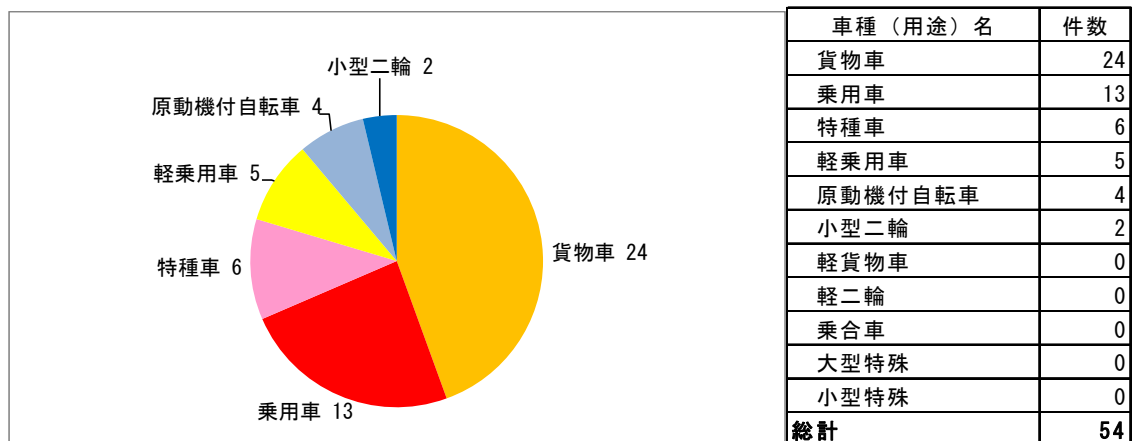
事故・火災



火災

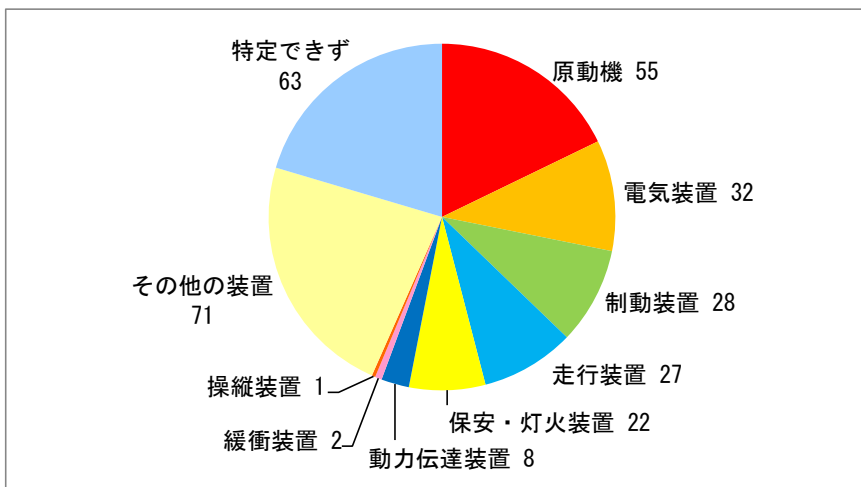


事故



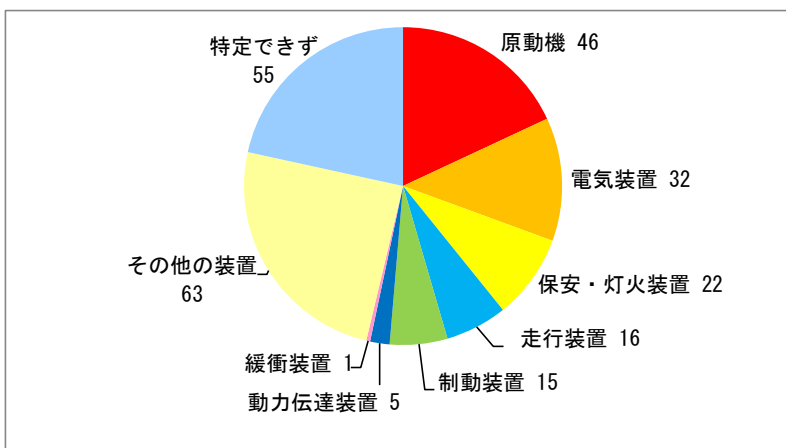
[2] 装置別件数

事故・火災



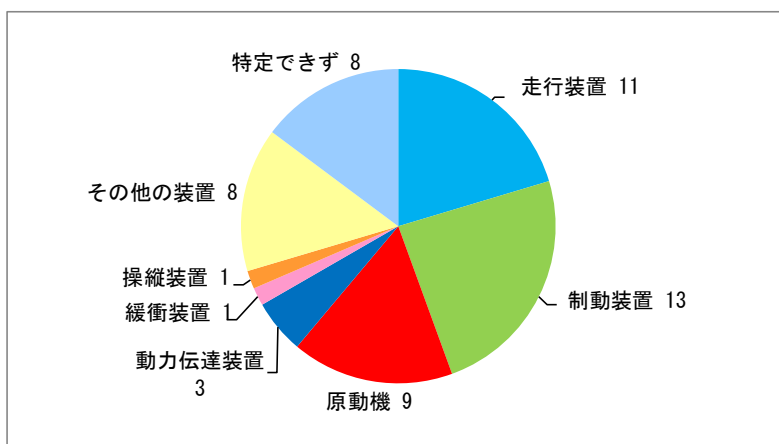
装置名	件数
原動機	55
電気装置	32
制動装置	28
走行装置	27
保安・灯火装置	22
動力伝達装置	8
緩衝装置	2
操縦装置	1
燃料装置	0
その他の装置	71
指定できず	63
総計	309

火災



装置名	件数
原動機	46
電気装置	32
保安・灯火装置	22
走行装置	16
制動装置	15
動力伝達装置	5
緩衝装置	1
操縦装置	0
燃料装置	0
その他の装置	63
指定できず	55
総計	255

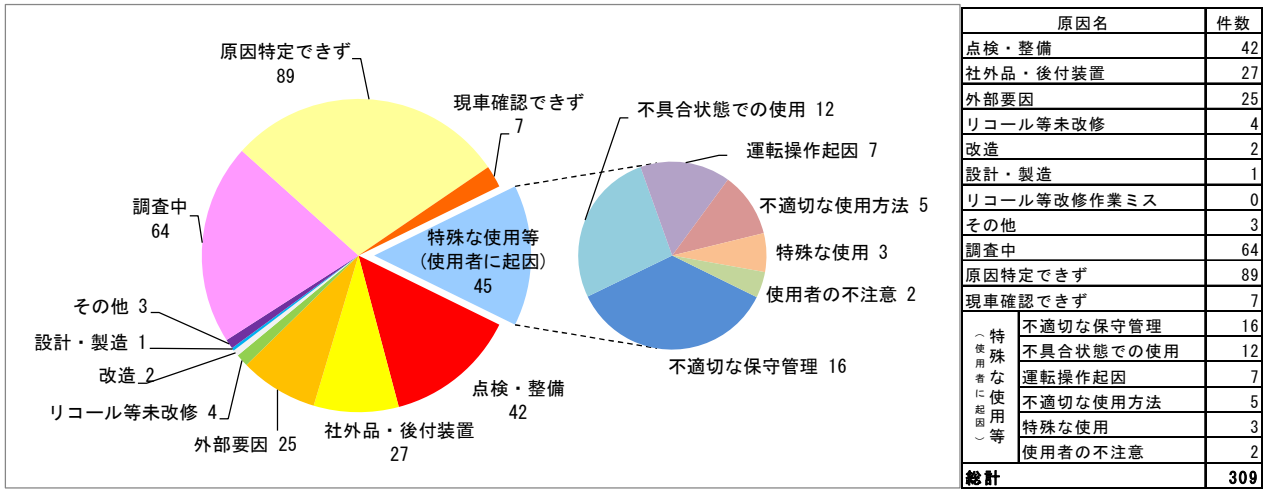
事故



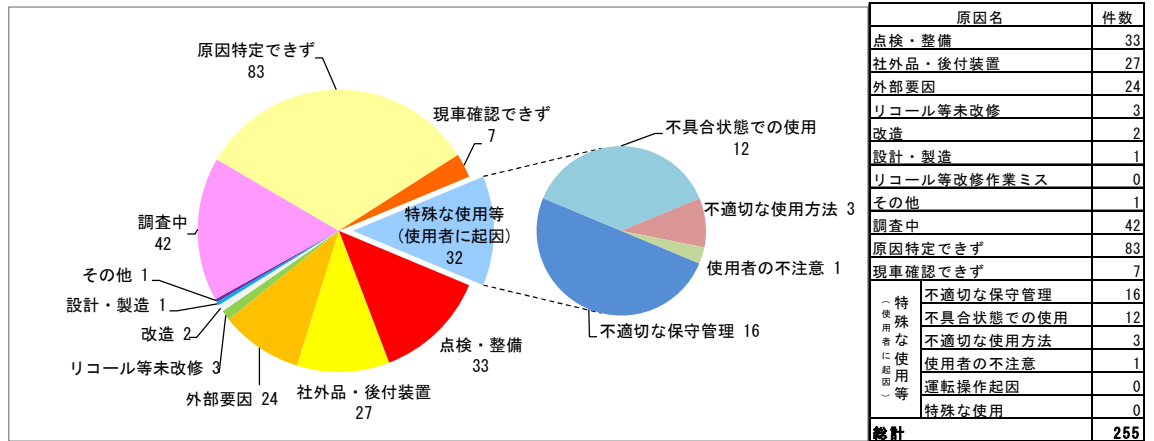
装置名	件数
走行装置	11
制動装置	13
原動機	9
動力伝達装置	3
緩衝装置	1
操縦装置	1
電気装置	0
保安・灯火装置	0
燃料装置	0
その他の装置	8
指定できず	8
総計	54

[3] 原因別件数

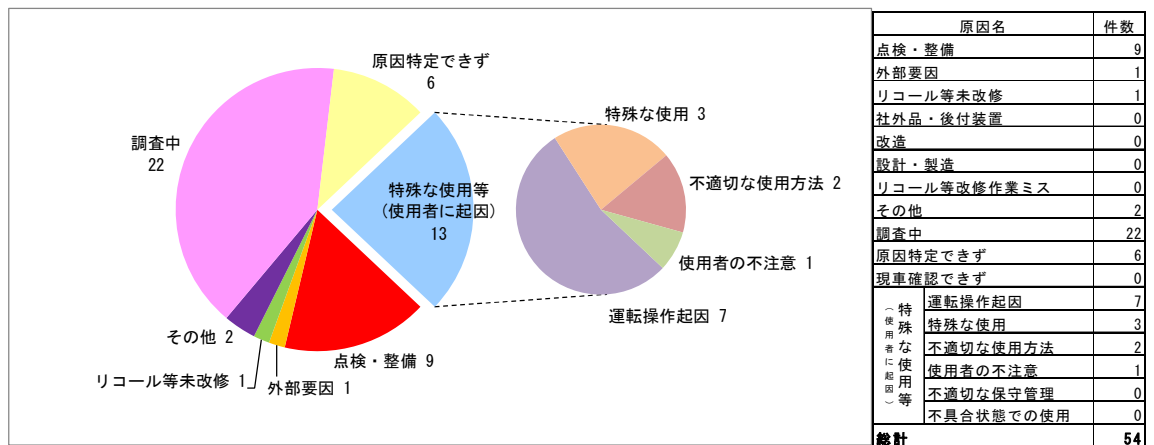
事故・火災



火災



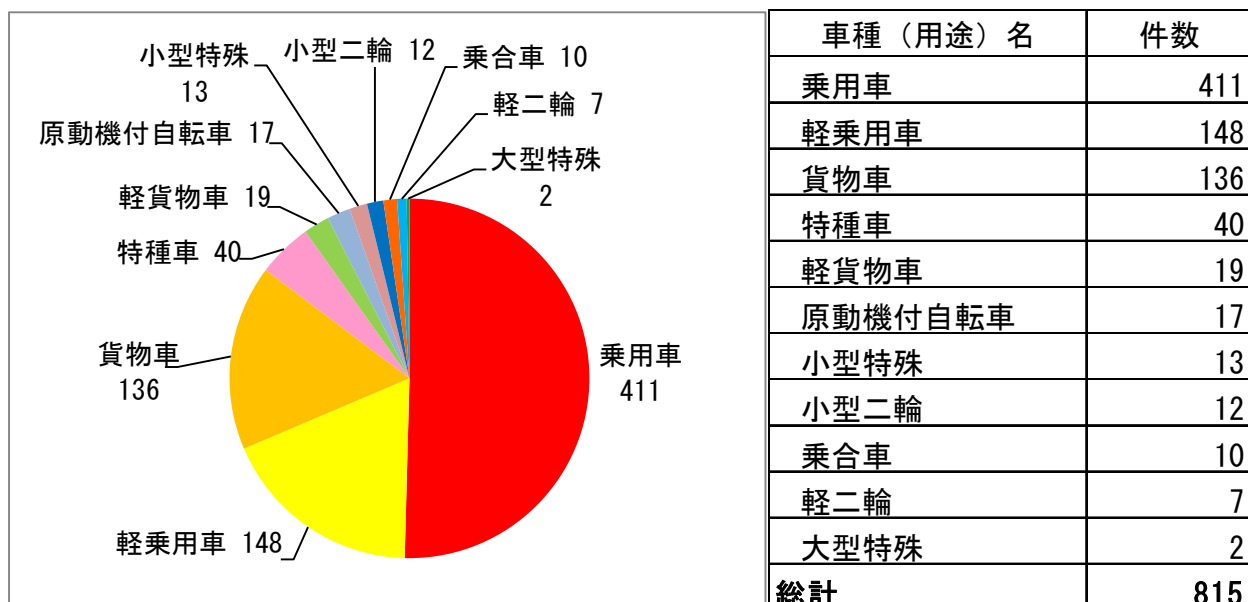
事故



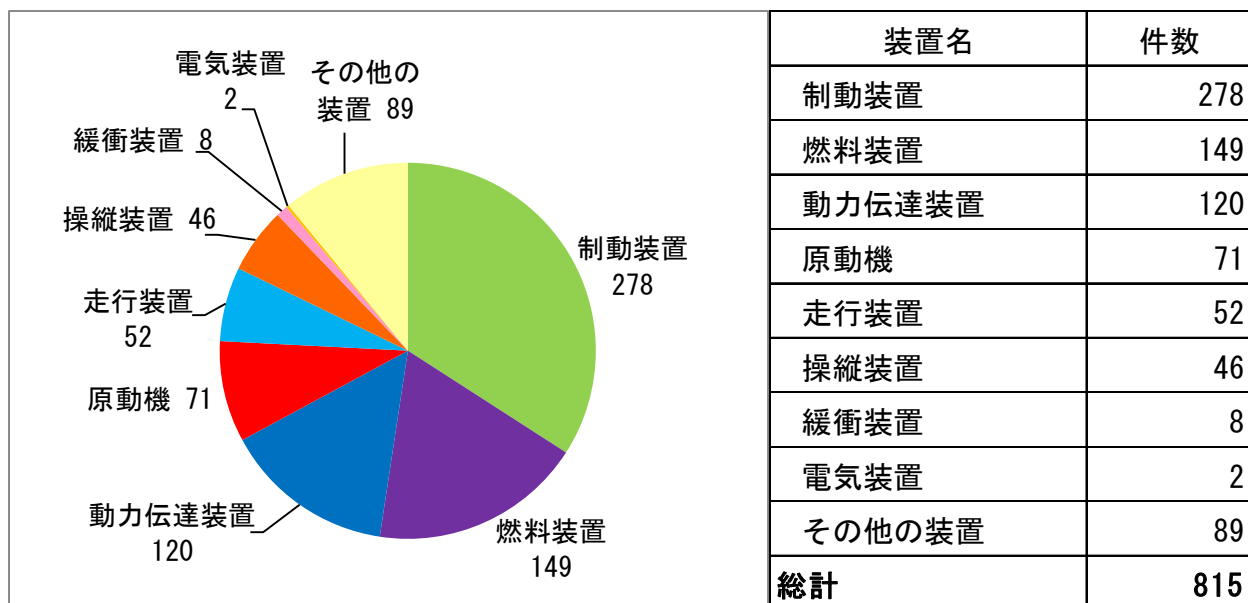
自動車の不具合情報（自動車製作者等からの報告）

自動車製作者等から新たに報告のあった不具合情報（事故・火災情報として報告されたものを除く。）の件数は815件でした。

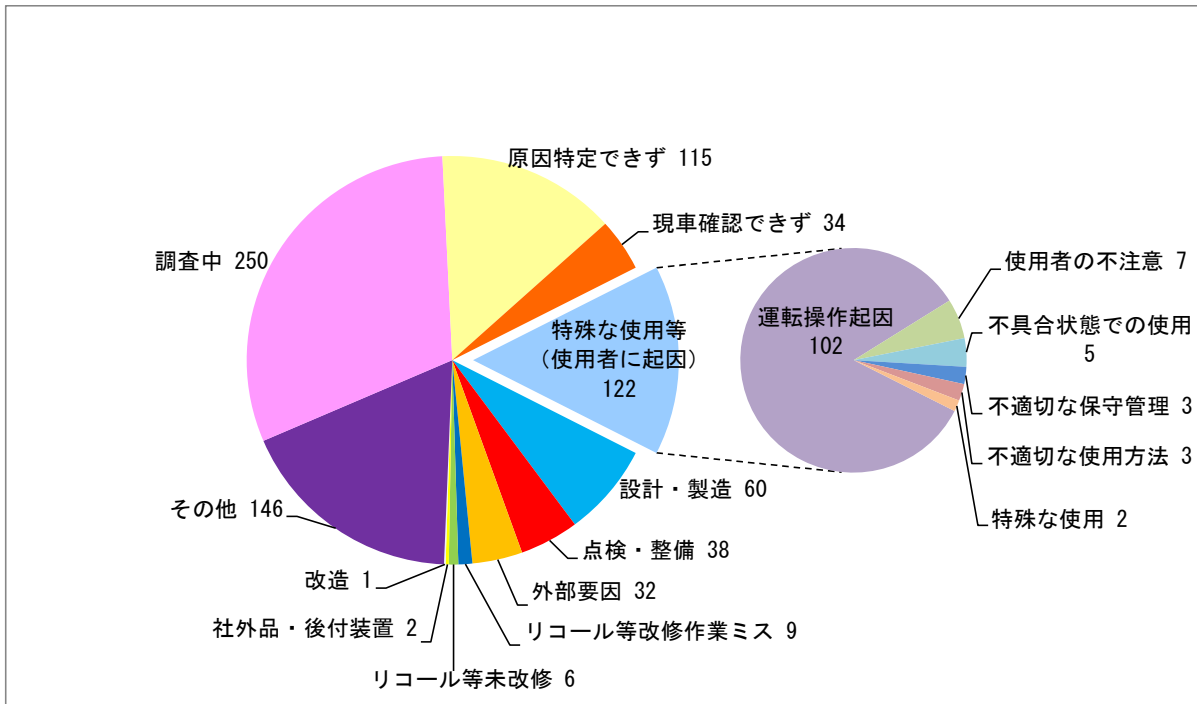
[1] 車種（用途）別件数



[2] 装置別件数



[3] 原因別件数

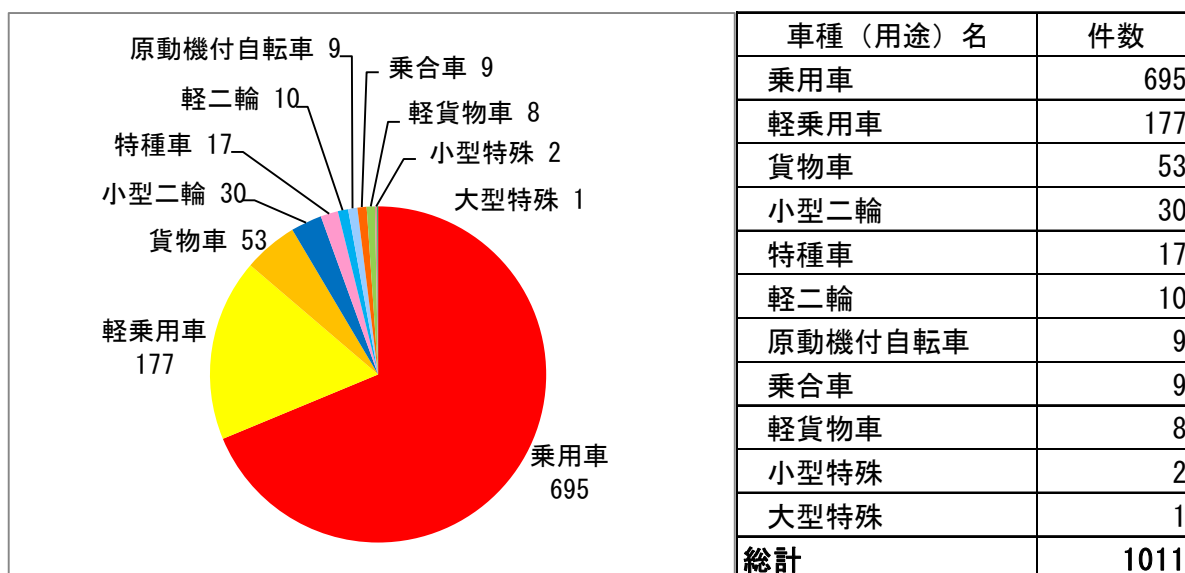


原因名		件数
設計・製造		60
点検・整備		38
外部要因		32
リコール等改修作業ミス		9
リコール等未改修		6
社外品・後付装置		2
改造		1
その他		146
調査中		250
原因特定できず		115
現車確認できず		34
（特殊な使用等に起因）	運転操作起因	102
	使用者の不注意	7
	不具合状態での使用	5
	不適切な保守管理	3
	不適切な使用方法	3
	特殊な使用	2
総計		815

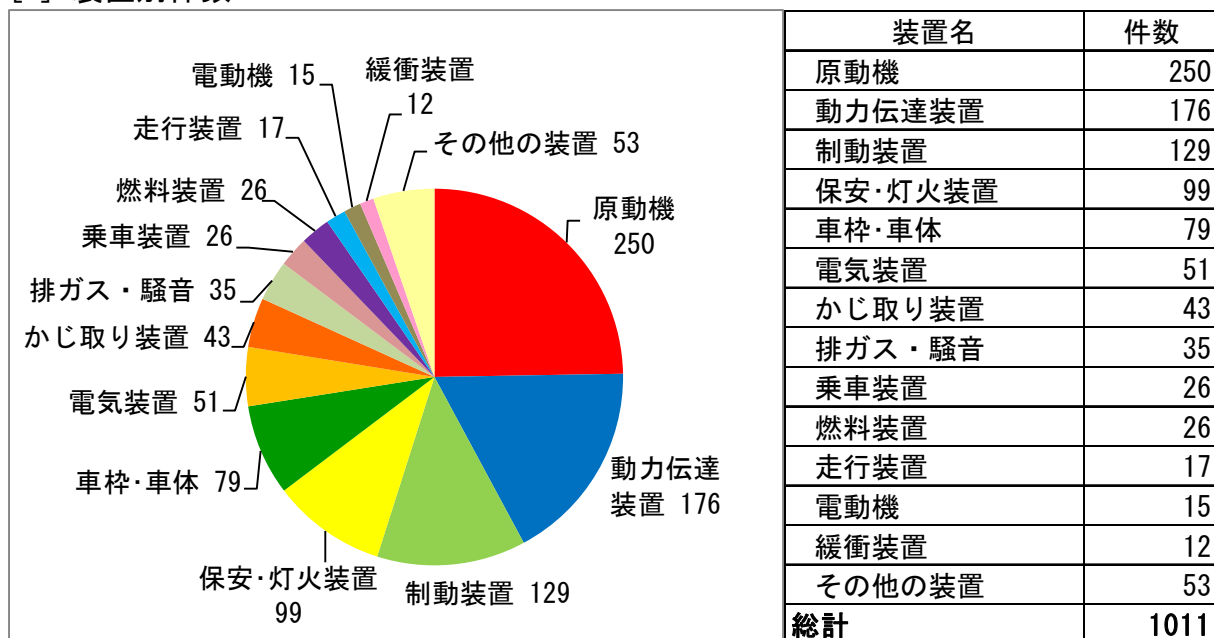
自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報

自動車不具合情報ホットラインへ寄せられた情報の件数は1,638件であり、そのうち「自動車製作者等の相談窓口と勘違いした」など自動車の不具合以外の情報を除いた自動車不具合情報の件数は1011件でした。（各運輸局等への電話等による情報提供を含む。）

[1] 車種（用途）別件数



[2] 装置別件数



[3] 事実確認の概要

自動車ユーザーからホットラインに寄せられた不具合情報のうち、多発性や重大性等を勘案して自動車製作者等に事実確認している場合もあります。

事実確認の結果、適切な使用や保守・管理により防ぐことが可能と思われる事案は次のとおりでした。

内 容	件数
不適切な保守管理によるもの	4
後付け部品の不適切な取付けによるもの	4
運転操作に起因するもの	1
特殊な使用によるもの	1
不適切な使用方法によるもの	0
不具合状態での使用によるもの	0
使用の際の不注意によるもの（運転操作以外）	0

（付録）令和2年度第3四半期衝突被害軽減ブレーキおよび ペダル踏み間違い急発進抑止装置の不動作状況に関する統計結果について

令和2年度第3四半期に自動車製作者から国土交通省に報告、及び使用者から国土交通省に寄せられた自動車の不具合情報のうち、衝突被害軽減ブレーキ及びペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報と思われるものを統計的にとりまとめたので、その結果を報告いたします。

なお、この統計結果は自動車製作者及び使用者からの情報によるもので、そのすべての内容の事実を確認しているものではありません。

1. 衝突被害軽減ブレーキ

令和2年第3度四半期に衝突被害軽減ブレーキに関する不具合情報は161件あった。

(1) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不動作	不要作動	その他	合計
物損事故	35	2	0	37
人身事故	3	4	0	7
事故なし又は不明	3	114	0	117
合計	41	120	0	161

(2) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不動作	不要作動	その他	合計
乗用車	24	66	0	90
軽乗用車	12	37	0	49
貨物車	3	7	0	10
軽貨物車	1	2	0	3
乗合車	1	4	0	5
特種車		4	0	4
合計	41	120	0	161

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	18	2	0	20
軽乗用車	12	0	0	12
貨物車	3	0	0	3
軽貨物車	1	0	0	1
特種車	0	0	0	0
乗合車	1	0	0	1
合計	35	2	0	37

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	3	3	0	6
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
特種車	0	0	0	0
乗合車	0	1	0	1
合計	3	4	0	7

(5) 不具合事象の原因別件数(使用者から報告のあった自動車の不具合情報は除く。)

(件)

原因 \ 事象	不作為	不要作動	その他	合計
誤検知・誤作動	0	30	0	30
運転操作起因	15	2	0	17
正常作動	7	7	0	14
検出対象外 または検出限界	5	0	0	5
作動条件成立せず	5	0	0	5
設計・製造	2	3	0	5
不適切、不具合 状態での使用	0	2	0	2
点検・整備	0	1	0	1
機能限界	1	0	0	1
調査中	1	29	0	30
原因特定できず	1	27	0	28
現車確認できず	0	5	0	5
合計	37	106	0	143

2. ペダル踏み間違い急発進抑止装置

令和2年度第2四半期にペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報は6件あった。

(1) 被害別件数

(件)

被害	事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故		2	0	0	2
人身事故		0	0	0	0
事故なし又は不明		1	3	0	4
合計		3	3	0	6

(2) 車種別件数

(件)

車種	事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車		3	3	0	6
軽乗用車		0	0	0	0
貨物車		0	0	0	0
軽貨物車		0	0	0	0
特種車		0	0	0	0
乗合車		0	0	0	0
合計		3	3	0	6

(3) 物損事故

(件)

車種	事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車		2	0	0	2
軽乗用車		0	0	0	0
貨物車		0	0	0	0
軽貨物車		0	0	0	0
特種車		0	0	0	0
乗合車		0	0	0	0
合計		2	0	0	2

(4) 人身事故

人身事故につながった不具合情報はなかった。

(5) 不具合事象の原因別件数(使用者から報告のあった自動車の不具合情報は除く。)

(件)

原因 \ 事象	不作為	不要作動	その他	合計
誤検知・誤作動	0	0	0	0
運転操作起因	0	0	0	0
正常作動	0	1	0	1
検出対象外 または検出限界	0	0	0	0
作動条件成立せず	2	0	0	2
設計・製造	0	0	0	0
不適切、不具合 状態での使用	0	0	0	0
点検・整備	0	0	0	0
機能限界	0	0	0	0
調査中	0	0	0	0
原因特定できず	0	1	0	1
現車確認できず	0	0	0	0
合計	2	2	0	4